

# 成人・老年看護学講座

## 成人看護学

### 著 書

- 1 安田加代子：酸・塩基平衡障害と電解質異常。山勢博彰編：新人ナースのための『注射・輸液・輸血テクニック』。73-88，メディカ出版。大阪 2005。

### 学術論文

- 1 安田加代子，松岡 緑，藤田君支，古賀明美，佐藤和子：糖尿病の自己管理における対人関係の困難性—困難な気持ちから肯定的な気持ちへと変化した対処行動。日本看護科学会誌，25(2)：28～36，2005。
- 2 古賀明美，松岡 緑，藤田君支，佐藤和子：糖尿病患者の受診中断に関連した療養生活体験の分析。日本糖尿病教育・看護学会誌 9(2)：114—123，2005。

### 学会発表

- 1 Fujita K, Makimoto K, Hotokebuchi T, Sato K: Experiences of patients undergoing Total Hip Arthroplasty in Japan. 23th. International Council of Nurses, 2005. 5
- 2 高崎光浩，佐藤和子，藤田君支，安田加代子，古賀明美，石川倫子，山地洋子，松浦江美，八田勘司：病棟実習(看護)における web を用いた実習記録システムの構築 —学生に応じた効果的教育的介入への e ラーニングシステムの活用—。第6回看護情報研究会学術集会，2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集：99～104。
- 3 佐藤和子，藤田君支，高崎光浩，安田加代子，古賀明美，石川倫子，山地洋子，松浦江美，八田勘司：成人看護学実習における看護過程教育支援システムの効果。第6回看護情報研究会学術集会，2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集：105～106。
- 4 藤田君支，佐藤和子，高崎光浩，安田加代子，古賀明美，石川倫子，山地洋子，松浦江美，八田勘司：老年看護学教育における事例の電子化と看護診断教育支援システムの有用性。第6回看護情報研究会学術集会，2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集：133～134。
- 5 藤田君支，佐藤和子，山地洋子，安田加代子，古賀明美，松浦江美，石川倫子，大田明英：看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その1—老年看護学領域。第11回日本看護診断学会学術大会，2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会抄録集：255～256。
- 6 安田加代子，佐藤和子，山地洋子，藤田君支，古賀明美，松浦江美，石川倫子，大田明英：看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その2—急性期看護学領域。第11回日本看護診断学会学術大会，2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会抄録集：257～258。
- 7 古賀明美，佐藤和子，松浦江美，石川倫子，藤田君支，山地洋子，安田加代子，大田明英：看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その3—回復期・慢性期看護学領域。第11回日本看護診断学会学術大会，2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会抄録集：259～260。
- 8 石川倫子，佐藤和子，藤田君支，古賀明美，松浦江美，安田加代子，山地洋子，大田明英：看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その4—終末期看護学領域。第11回日本看護診断学会学術大会，2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会抄録集：261～262。
- 9 山地洋子，松浦江美，佐藤和子，高崎光浩，藤田君支，古賀明美，安田加代子，石川倫子：Web を

- 利用した成人看護実習記録への試み（その1）～電子記録利用による学習到達度に関する効果～。  
第31回日本看護研究学会学術集会，2005. 7. 21. 日本看護研究学会雑誌，28(3)：184.
- 10 松浦江美，山地洋子，佐藤和子，高崎光浩，藤田君支，古賀明美，安田加代子，石川倫子：Webを利用した成人看護実習記録への試み（その2）～電子記録の構築による記録の効率化とその効果～。  
第31回日本看護研究学会学術集会，2005. 7. 21. 日本看護研究学会雑誌，28(3)：185.
- 11 安田加代子，佐藤和子，河田幸恵，横井宏佳，神崎良子，木村多寿子，野田喜寛：包括的心臓リハビリテーション患者のQOL. 第20回リハ工学カンファレンス，2005. 9. 1. 第20回リハ工学カンファレンス講演論文集：22～23.
- 12 佐藤和子，八坂真由子，玉置奈保子，影山隆之，雨宮洋子：認知症高齢者における残尿量に関する検討—一日中の活動レベルとの関連性について—。第20回リハ工学カンファレンス，2005. 9. 3. 第20回リハ工学カンファレンス講演論文集：262～263.
- 13 石川倫子，安田加代子，佐藤和子，佐藤千亜姫，島内真紀，矢島 薫，井口幸子，大平知子，濱田陽子：認知症高齢者の活動量と排尿後の膀胱内残尿量との関係—ライフコーダーを用いた検討—。第20回リハ工学カンファレンス，2005. 9. 3. 第20回リハ工学カンファレンス講演論文集：354～355.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	佐藤 和子	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究(代表)	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究—電子カルテを活用した方法論の開発—	900
教授 講師	佐藤 和子 安田加代子	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(分担)	尿失禁のある高齢者への個別的な排尿援助方法の開発と睡眠障害の改善に関する研究(代表：佐藤和子)	4,000
教授	佐藤 和子	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(分担)	糖尿病患者における受診再開支援システムの開発—生活習慣記録機の活用—	1,900
助教授 教授 講師	山地 洋子 佐藤 和子 安田加代子	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究(分担)	循環動態が不安定な重症救急患者のケア技術開発に関する研究(代表：山地洋子)	2,200
講師	安田加代子	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	包括的心臓リハビリテーションにおける看護ガイドラインの開発に向けた基礎的研究(代表：安田加代子)	639

#### 慢性期看護分野

##### 著書

- 1 石川倫子：輸液のテクニック—点滴中の観察と異常の早期発見。山勢博彰監修：新人ナースのための「もっとうまくなる注射・輸液・輸血テクニック」。121-132。メディカ出版 大阪 2005.
- 2 古賀明美：輸液のテクニック—輸液の目的，各種輸液製剤。山勢博彰監修：新人ナースのための

- 「もっとうまくなる注射・輸液・輸血テクニック」, 68-72, 89-96. メディカ出版 大阪 2005.
- 3 松浦江美：輸液のテクニック—点滴静脈注射の実際, 輸液ポンプ・シリンジポンプの使用法. 山勢博彰監修：新人ナースのための「もっとうまくなる注射・輸液・輸血テクニック」, 97-120. メディカ出版 大阪 2005.
  - 4 大田明英：免疫とアレルギー. 渡辺照男編：カラーで学べる病理学. 第2版 63-79. ニューヴェルヒロカワ. 東京 2005.
  - 5 大田明英：関節リウマチ(RA)と関連疾患 成人 Still 病. 臨床免疫学(下)—基礎研究の進歩と最新の臨床—. 289-294. 日本臨床社. 大阪 2005.

#### 学術論文

- 1 藤田君支, 古賀明美, 山川裕子：人工股関節全置換術を受けた患者の生活体験の変化. 平成15年度木村看護教育振興財団 看護研究助成事業 看護研究収録：123-130, 2005.
- 2 石川倫子：国試に出る疾患57完全対策（筋萎縮性側索硬化症, 脊椎損傷）. クリニカルスタディ 26(12) 56-59, 2005.
- 3 °Koarada S, Haruta Y, Mitamura M, Tada Y, Morito F, Ohta A, Nagasawa K: Ex vivo CD4+ T cell cytokine expression from patients with Sjögren's syndrome following in vitro stimulation to induce proliferation. *Rheumatology (Oxford)* in press, 2005.
- 4 °Koarada S, Ide M, Haruta Y, Tada Y, Ushiyama O, Morito F, Ohta A, Nagasawa K: Two cases of antinuclear antibody negative lupus showing increased proportion of B cells lacking RP105. *J Rheumatol* 32: 562-564, 2005.
- 5 古賀明美, 松岡 緑, 藤田君支, 佐藤和子：糖尿病患者の受診中断に関連した療養生活体験の分析. *日本糖尿病教育・看護学会誌* 9(2)：114-123, 2005.
- 6 古賀明美：国試に出る疾患57完全対策（白内障, 緑内障）. *クリニカルスタディ* 26(12)：64-65, 2005.
- 7 °Nagasawa K, Tada Y, Koarada S, Horiuchi T, Tsukamoto H, Murai K, Ueda A, Yoshizawa S, Ohta A: Very early development of steroid-associated osteonecrosis of femoral head in systemic lupus erythematosus: prospective study by MRI. *Lupus* 14: 385-390, 2005.
- 8 大田明英：RA の鑑別すべき疾患—鑑別法と治療の進め方— 成人 Still 病. *Medical Practice* 22：427-431, 2005.
- 9 °末松梨絵, 多田芳史, 石井博修, 三田村未央, 春田善男, 小荒田秀一, 長澤浩平, 大田明英, 村山順一, 折田直美：大動脈弁閉鎖不全と腸管潰瘍を合併したベーチェット病の一例. *九州リウマチ* 25：68-72, 2005.
- 10 °高島 毅, 小荒田秀一, 三田村未央, 春田善男, 多田芳史, 長澤浩平, 大田明英：右横静脈洞血栓症を合併した CNS ループスの一例. *九州リウマチ* 25：49-54, 2005.
- 11 安田加代子, 松岡 緑, 藤田君支, 古賀明美, 佐藤和子：糖尿病の自己管理における対人関係の困難性—困難な気持ちから肯定的な気持ちへと変化した対処行動—. *日本看護科学学会誌* 25(2)：28-36, 2005.

#### 学会発表

- 1 藤田君支, 佐藤和子, 高崎光浩, 安田加代子, 古賀明美, 石川倫子, 山地洋子, 松浦江美, 八田勘司：老年看護学教育における事例の電子化と看護診断教育支援システムの有用性. 第6回看護情報研

- 研究会学術集会, 2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集:133-134.
- 2 藤田君支, 佐藤和子, 山地洋子, 安田加代子, 古賀明美, 松浦江美, 石川倫子, 大田明英: 看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その1 —老年看護学領域—. 第11回日本看護診断学会, 2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会プログラム・抄録集 10(2):255-256.
  - 3 °春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 三田村未央, 大田明英, 長澤浩平: 膠原病における樹状細胞上の Toll like receptors 発現の検討. 第49回日本リウマチ学会総会, 2005. 4. 20. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集:257.
  - 4 石川倫子, 古賀明美, 佐藤和子, 松浦江美, 藤田君支, 山地洋子, 安田加代子, 大田明英: 看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その4 —終末期看護学領域—. 第11回日本看護診断学会, 2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会プログラム・抄録集 10(2):261-262.
  - 5 石川倫子, 安田加代子, 佐藤和子, 佐藤千亜姫, 島内真紀, 矢島 薫, 井口幸子, 大平知子, 濱田陽子: 認知症高齢者の活動量と排尿後の膀胱内残尿量との関係—ライフコーダーを用いた検討—, 第20回リハ工学カンファレンス, 2005. 9. 3. 第20回リハ工学カンファレンス講演論文集:354-355.
  - 6 古賀明美: 受診中断に関連した糖尿病患者の療養生活体験. 第6回日本健康支援学会学術集会, 2005. 2. 20. 健康支援 7(1):70 (シンポジウム).
  - 7 古賀明美, 佐藤和子, 松浦江美, 石川倫子, 藤田君支, 山地洋子, 安田加代子, 大田明英: 看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その3 —回復期・慢性期看護学領域—. 第11回日本看護診断学会, 2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会プログラム・抄録集 10(2):259-260.
  - 8 松浦江美, 山地洋子, 佐藤和子, 高崎光浩, 藤田君支, 古賀明美, 安田加代子, 石川倫子: Web を利用した成人看護実習記録への試み(その2) —電子記録の構築による記録の効率化とその効果—. 第31回日本看護研究学会学術集会, 2005. 7. 21. 日本看護研究学会雑誌 28(3):185.
  - 9 °三田村未央, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: 成人発症 Still 病の臨床的検討—とくに治療と予後について—. 第49回日本リウマチ学会総会, 2005. 4. 20. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集:251.
  - 10 °小荒田秀一, 春田善男, 多田芳史, 三田村未央, 大田明英, 長澤浩平: 血管炎症候群における可溶性内皮プロテインC受容体の検討. 第49回日本リウマチ学会総会, 2005. 4. 19. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集:135.
  - 11 °小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平, 大田明英: ベーチェット病における細胞分裂に関連したエフェクターメモリ CD4+T 細胞の Th1/Th2 バランスの検討. 第35回日本免疫学会総会, 2005. 12. 15. 第35回日本免疫学会総会・学術集会抄録集:286.
  - 12 佐藤和子, 藤田君支, 高崎光浩, 安田加代子, 古賀明美, 石川倫子, 山地洋子, 松浦江美, 八田勘司: 成人看護学実習における看護過程教育支援システムの効果. 第6回看護情報研究会学術集会, 2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集:105-106.
  - 13 °シェリフ多田野亮子, 大田明英, 三田村未央, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平: 強皮症 (SSc) 患者由来線維芽細胞のコラーゲン代謝に及ぼす Hepatocyte growth factor (HGF) の影響. 第49回日本リウマチ学会総会, 2005. 4. 19. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集:225.
  - 14 \*高崎光浩, 佐藤和子, 藤田君支, 古賀明美, 石川倫子, 山地洋子, 松浦江美, 八田勘司: 病棟実習

(看護)における Web を用いた実習記録システムの構築 学生に応じた効果的教育的介入へのe-ラーニングシステムの活用. 第6回看護情報研究会学術集会, 2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集: 99-104.

- 15 °多田芳史, 小荒田秀一, 春田善男, 三田村未央, 大田明英, 長澤浩平: MRL/lpr マウスの病態発現における inducible costimulators (ICOS) の役割. 第49回日本リウマチ学会総会, 2005. 4. 20. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集: 283.
- 16 山地洋子, 松浦江美, 佐藤和子, 高崎光浩, 藤田君支, 古賀明美, 安田加代子, 石川倫子: Web を利用した成人看護実習記録への試み (その1) —電子記録利用による学習到達度に関する効果—. 第31回日本看護研究学会学術集会, 2005. 7. 21. 日本看護研究学会雑誌 28(3): 184.
- 17 安田加代子, 佐藤和子, 山地洋子, 藤田君支, 古賀明美, 松浦江美, 石川倫子, 大田明英: 看護診断とその妥当性に関する研究の動向 その2 —急性期看護学領域—. 第11回日本看護診断学会, 2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術大会プログラム・抄録集 10(2): 257-258.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授 助手	大田 明英 松浦 江美	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	炎症性腸疾患の病態に関連するストレス不適應についての研究 (代表: 大田明英)	1,485
教授 講師	大田 明英 古賀 明美	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究(分担)	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究 —電子カルテを活用した方法論の開発—	900
講師	古賀 明美	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	糖尿病患者における受診再開支援システムの開発 —生活習慣記録機の活用— (代表: 古賀明美)	1,900
講師	古賀 明美	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	糖尿病患者における治療継続支援システムの開発 —生活習慣の実証的記録に基づくアプローチ— (代表: 古賀明美)	606
助手	松浦 江美	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	膠原病患者に対するセルフマネジメントプログラムの開発とその効果に関する研究 (代表: 松浦江美)	1,400
助手 教授	松浦 江美 大田 明英	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	基盤教育研究 実行経費	看護研究に実験医学の手法(ELISA システム)を導入するために必要な機器の整備 (代表: 松浦江美)	3,086
助手	石川 倫子	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	胃切除術を受けた患者の消化器愁訴と食事摂取に伴う残胃内容積の変化の関連性の検討 (代表: 石川倫子)	245
助手	石川 倫子	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B) (分担)	尿失禁のある高齢者への個別的な排尿援助方法の開発と睡眠障害の改善に関する研究	4,000

## 老年看護学分野

### 著 書

- 1 八田勘司：抑うつ感情の患者の看護。川野雅資編：精神看護学II。第3版 247-254。ヌーヴェルヒロカワ。東京 2005
- 2 八田勘司：痴呆状態の患者の看護。川野雅資編：精神看護学II。第3版 322-332。ヌーヴェルヒロカワ。東京 2005
- 3 八田勘司：環境。奥野茂代，大西和子編：老年看護学I。第2版 174-176。ヌーヴェルヒロカワ。東京 2005
- 4 八田勘司：精神保健。奥野茂代，大西和子編：老年看護学II。第2版 177-182。ヌーヴェルヒロカワ。東京 2005
- 5 八田勘司：介護におけるコミュニケーション。山岡喜代子・荏原順子編：介護技術。初版 17-25。建帛社。東京 2005

### 学術論文

- 1 藤田君支，古賀明美，山川裕子：人工股関節全置換術を受ける患者の生活体験の変化。看護研究集録12，木村看護教育振興財団，123-130，2005。
- 2 藤田君支：第23回国際看護学会4年毎大会参加レポート：整形外科看護 9(10)：54-55，2005。
- 3 °安田加代子，松岡 緑，藤田君支，古賀明美，佐藤和子：糖尿病の自己管理における対人関係の困難性—困難な気持ちから肯定的な気持ちへと変化した対処行動—。日本看護科学会誌 25(2)：28-36，2005。
- 4 °古賀明美，松岡 緑，藤田君支，佐藤和子：糖尿病患者の受診行動に関連した療養生活体験の分析。日本糖尿病教育・看護学会誌 9(2)：114-123，2005。
- 5 八田勘司：精神看護。准看護婦資格試験11月臨時増刊号 46(14)：289-298，2005
- 6 \*小林文子，吉岡多美子，大平肇子，八田勘司，奥野正孝，河村和子，小坂みち代，村本淳子：ルーラルナースの教育プログラムの検討。地域医療44回特集号：165-167，2005
- 7 \*松尾壽子，八田勘司：「おむつ体験」学習の検討。第一福祉大学紀要，3：10-15，2005。
- 8 上野和美：大腿骨頸部骨折。クリニカルスタディ 臨時増刊号 26(12)：60-61，2005
- 9 上野和美：腰椎椎間板ヘルニア。クリニカルスタディ 臨時増刊号 26(12)：62-63，2005

### 学会発表

- 1 Fujita, Makimoto, Hotokebuchi, Sato: Experiences of patients undergoing total hip arthroplasty in Japan. The ICN 23rd Quadrennial Congress, in Taipei. 2005. 5. 25.
- 2 藤田君支，佐藤和子，山地洋子，安田加代子，古賀明美，松浦江美，石川倫子，大田明英：看護診断とその妥当性に関する研究の動向—老年看護学領域—。第11回日本看護診断学会学術集会。2005. 7. 3. 第11回日本看護診断学会学術集会抄録集：255-256。
- 3 藤田君支，佐藤和子，高崎光浩，安田加代子，古賀明美，石川倫子，山地洋子，松浦江美，八田勘司：老年看護学教育における事例の電子化と看護診断教育支援システムの有用性。第6回看護情報研究会。2005. 6. 25. 第6回看護情報研究会論文集：133-134。
- 4 \*藤丸温子，下城美紀，野村美佳，藤田君支，佛淵孝夫：人工股関節前置換術を受けた患者の満足度

- に関する調査。第20回リハ工学カンファレンス。2005. 9. 1. 第20回リハ工学カンファレンス論文集：8-9.
- 5 \*上杉裕子, 奥宮暁子, 藤田君支：人工股関節置換術患者の QOL—Oxford Hip Score 日本語版の信頼性, 妥当性—。第31回日本看護研究学会。2005. 7. 22. 日本看護研究学会誌 28(3)：262.
- 6 八田勘司, 馬場雄司：「笑い」の「ちんどんセラピー」の実践と効果。第20回リハ工学カンファレンス。2005. 9. 1. 第20回リハ工学カンファレンス講演論文集：20.
- 7 \*小林文子, 大平肇子, 村本淳子, 吉岡多美子, 奥野正孝, 八田勘司, 河村和子, 小坂みち代：ルーラルナースの教育プログラムの開発—地域性を踏まえた救急現場での対応—。第45回全国国保地域医療学会。2005. 9. 9. 第45回全国国保地域医療学会抄録集：194.
- 8 \*小林文子, 大平肇子, 村本淳子, 吉岡多美子, 奥野正孝, 八田勘司, 河村和子, 小坂みち代：ルーラルナーシングにおける専門家役割モデル—へきち診療所看護職全国調査結果から—。第64回日本公衆衛生学会。2005. 9. 16. 第64回日本公衆衛生学会抄録集：523
- 9 上野和美：末期がん患者のセルフ・エフィカシーと心理・社会的側面との関連。第10回日本緩和医療学会総会・第18回日本サイコオンコロジー学会総会合同大会。2005. 7. 2. 第10回日本緩和医療学会総会・第18回日本サイコオンコロジー学会総会合同大会抄録集：177.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教授	藤田 君支	科学研究費補助金	若手研究(B)	人工関節置換術を受ける患者の手術前後を通じての QOL に関する縦断的研究 (代表：藤田君支)	1,200
助教授	藤田 君支	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	佐賀大学医学部研究者育成支援事業	慢性病患者の価値転換と QOL に関する縦断的研究 (代表：藤田君支)	750
助教授	藤田 君支	日本股関節振興財団研究助成	(分担)	縦断的調査による OHS 日本語版の信頼性妥当性の検証	700
助手	上野 和美	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業	末期がん患者のセルフ・エフィカシーと心理・社会的要因との関連についての研究 (代表：上野和美)	251